



本年8月から新棟工事に着手し、約1年後の完成を予定しています。

これに先立ち、これからの工事の安全を祈願し、地鎮祭を無事に執り行なうことができました。

この新棟には眼科、婦人科を新設すると共に、リウマチ膠原病科外来と整形外科外来を独立させる形で外来部門の充実を図る予定です。



## 専門性の高い外来機能の充実を目指します。



新棟完成イメージ

## 法人関連施設

- 社会医療法人 渡邊高記念会 / 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 / 西宮渡辺心臓リハビリクリニック / 西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニック / ハートケア西宮わたなべ福祉の郷 / 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所わたなべ / グループホーム西宮わたなべ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり / すくすく保育 / 訪問看護ステーション西宮わたなべ / 居宅介護センター西宮わたなべ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 健康塾 / 西宮市中央在宅療養相談支援センター / 西宮渡辺心臓脳・血管センター附属訪問看護ステーション

- 社会福祉法人 高明会 / シルバートピア西宮 / 居宅介護支援センターはまかぜ

わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

当院各階詰所・1F受付に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。

【発行元】社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部 【TEL】0798-74-2630 【FAX】0798-74-7257 【URL】<http://www.n-watanabe-hosp.jp/>



## 西宮渡辺病院 開院記念日に寄せて

### 理事長 ご挨拶

社会医療法人 渡邊高記念会/理事長  
佐々木 恭子

11月1日は西宮渡辺病院そして私共の法人の57回目の誕生日です。

6月に始まった第七波のコロナ禍も何とか収束と思いきや、また次の波が。まだ気を緩めてはいけないのでしょうか？多大なご迷惑とご不便をおかけしていますが、今まで何とか無事に乗り越えられましたのも皆様のご協力の賜物、心より御礼申し上げます。

pandemicな感染症として世界中の国々が共通の課題に取り組んだ今回のコロナ対応ですがその対応は様々で文化や心情の違いが医療に及ぼす影響を知る結果となっています。科学的根拠に伴う対応と言いつつも大きく違う各国の対応は、医療というものがその国の文化や思想に大きく関連している事を思い知らされる結果です。医療はその地域で暮らす人の心情や文化そして生活を見失っては成立しないものなのだという思いで、法人のこれからの見直しています。

ワクチン開発に莫大な予算を投入したアメリカの対応はウイルスに打ち勝つという明確な意思表示であり、正に攻撃は最大の防御で有る銃社会アメリカの思想と文化の反映の様にも見えました。一方で日本の取り組みに於いては、

マスク、手洗い、社会の協力を基本とする感染防御の実践で共存をコンセンサスとした取り組みであったのではないのでしょうか。アメリカのやり方はワクチンの開発や治療薬の開発に大きく貢献しましたが、そこに至るプロセスにおいては日本の何十倍という死者や重症者を出しています。日本も守りの方針だけでは限界があり医療崩壊を止められない事態を繰り返しました。国内に於いても地域や家族、更には世代によってその考え方や倫理観に大きな隔たりがあることを浮き彫りにしたのもこのコロナ禍であったと思います。

多様性の中での共存はこれからの地域医療の大きなテーマである事を感じつつ、法人は今、時代の要請に応える準備を進めています。西宮渡辺病院西側では来年9月の完成を目指して新しい増築棟の工事も始まりました。新棟では外来化学療法強化や眼科、リウマチ科、口腔外科、婦人科など新しい診療体制に取り組む予定です。

昨年11月1日にオープンした東灘クリニックでは循環器科と共に糖尿病内科の強化も開始しました。センター、前浜、甲子園、東灘と心臓リハビリの輪を広げています。

西宮市もすでに人口減に突入り少子高齢化の極みに到達しています。周囲を見渡すと未来への不安は増すばかりですが嘆いてばかりはいられません。コロナ禍という災害から学んだ様々な経験を生かし、新しい未来を作っていこうと決意しています。ご協力ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

### 院長 ご挨拶

社会医療法人 渡邊高記念会/副理事長  
兼 西宮渡辺病院/院長  
佐々木 健陽

西宮渡辺病院は、創立57年を迎えることができました。一重に地域の皆様のおかげと感謝しています。

コロナ感染が始まってから3年を過ぎ、ようやく落ち着きが見えてきています。さて、本院では4月より近畿大学医学部血液・膠原病内科 船内正憲前教授をリウマチ・膠原病センター長として、兵庫県立西宮病院の正田悦朗前

整形外科部長、四肢外傷センター部長を副院長としてお迎えしました。そして、救急体制強化のため、長野市民病院救急科部長 坂口治先生を迎え、さらに、藤田医科大学感染症科 佐々木俊治医師が着任しました。半年を過ぎ、本院の診療が非常に円滑に充実しています。

一方、兵庫医科大学 下部消化器外科 池田教授、麻酔科・疼痛制御科 廣瀬教授の特別診療も引き続き行っています。

今後とも、敬天愛人の理念のもと、地域の皆様に、気軽に最新の医療を当院にて提供でき、今まで以上に安心と安全な医療を継続的に提供できるよう、これからも一歩ずつ進んでいきたいと思っています。

今後ともよろしくお願いいたします。

## 西宮渡辺病院 開院記念に寄せて



西宮渡辺病院 副理事長  
渡辺 慶明

この11月で当法人はまた一年、歳を重ねることができました。

当法人は地域の役に立ちたいという祖父の思いから創設されました。開院当初、私の物心がついたときは、まだ今よりもずっと小さな本院があるだけでした。それが建て直されて今の西宮渡辺病院になり、地域のご要望に応える形で、心臓脳・血管センター、前浜のリハビリテーション病院や介護施設などグループの輪が広がっていきました。



西宮渡辺病院 副理事長  
佐々木 俊治

11月1日に当院は開院記念日を迎えることができました。地域の皆様、当院

で働いているスタッフに心より感謝を申し上げます。

当院は地域に根ざした医療、枠を超えた医療を基本方針に掲げております。本年の新型コロナウイルス感染症の第7波発生に際しても近隣の病院が次々と院内感染などで病院を閉鎖する中、当院も決して余裕のある状況ではございませんでしたが、「地域の方々のために何かできることはないか」、「患者さんのためにできることは」と、救急部の坂口先生を始めとした医師、看護師、薬剤師、リハビリ、検査技師、放射線科、事務など全ての職種が一丸となり



西宮渡辺病院 副院長  
岡田 憲幸

毎年11月の開院記念日を迎えるたびに、あらためて当院の歴史の重みと、

それによって築かれてきた地域医療への貢献度を思い、そこに勤務していることを誇りに思います。特にこの2年あまりのコロナ禍においては近隣の大病院をも凌ぐほどの使命を果たし、(今でも発熱患者は診れないと救急を断る病院

グループは広がりいろいろな施設ができました。それでも、西宮渡辺病院は「地域の人たちの立ちたい」という思いの原点です。手前味噌で恐縮ですが、古くは阪神大震災においても、今回のコロナ禍においても当法人の主力として重要な役割を果たせたのはこの思いが息づいているからだと思います。来年は本院に新しい棟ができ、より一層の機能が充実します。

奢ることなく、この思いを胸に引き続き地域に役に立つことを模索していきたく思います。皆様におかれても引継ぎ、ご助力、ご支援いただけたら幸いです。これからもよろしくお願い致します。

センター、リハビリ病院、介護施設も含めた法人全体の総力を上げて対応いたしました。結果として一ヶ月で300件以上の救急車を当院で対応することができ、まさに枠を超えた医療、地域に根ざした医療の実践ができたのではないかと考えております。また、当院で受け入れた方の中には前任地の愛知県では大学病院でなくては対応しなかったであろう、新型コロナウイルスに罹患した合併症のある方も含まれており、質、量ともに地域の方々に貢献できたのではないかと考えています。

私自身も当地域に限らず全国的に数少ない感染症専門医として今後とも微力を尽くして参りますので地域の皆様におかれましても暖かいご支援をお願い申し上げます。また何かお役に立てることがございましたらお気軽にご相談ください。

もある中で!)ますます地域の信頼が厚くなっていることを肌に感じています。

私も外科に勤務して3年余りが経過しましたが、その短い間にも右肩上がりの法人の雰囲気を感じています。中でも今一番楽しみなのは隣で建築している新棟です。あと1年足らずですが、工事の雑音も心地よいくらいです。医師の数も増えると聞いています。外科の症例数は当初の急増が頭打ちになっていますが、今後医師が増え益々の増加を図っていく所存です。

### 西宮渡辺脳卒中・リハビリテーション病院

## 婦人科・女性医療センターからのお知らせ

早いもので今年1月にオープンしてからもうじき1年が経とうとしています。地域の皆様にはたくさんの受診をいただき誠に有難うございます。

当科ではオープン以来、**子宮がんや乳がんの早期発見**に寄与してまいりました。**病気に罹患してしまうのは運命かもしれないませんが、早期発見や早期治療を受けられるかどうか**

は、**常日頃の意識付けと定期的な検診によって、運命を変えることができるのです!**また女性特有の**月経に関する悩みや更年期のお悩み**は、**治療することで症状を緩和でき、より活動的で明るい生活を取り戻すことができます!**当婦人科をぜひとも有効にご利用いただき、皆様の命と健康を守る一助としていただければ幸いです。

### 婦人科 部長 西川 英樹



### 西宮渡辺病院

## 外傷センター便り

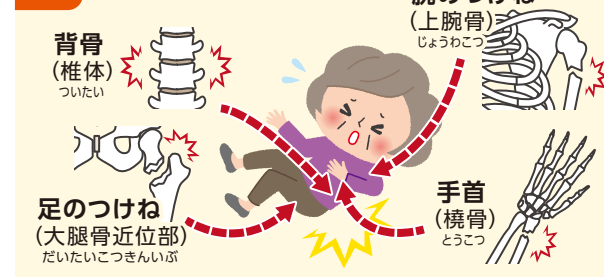
### ～骨粗鬆症に基づく骨折の治療～

西宮渡辺病院 整形外科 正田 悦朗



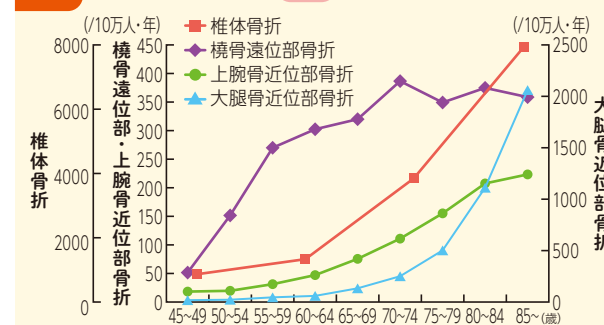
**骨粗鬆症**が進行すると、ちょっとした転倒やつまずきで骨折が起きようになります。代表的な部分は、**図1**に示すように手首(橈骨遠位端骨折)、肩(上腕骨近位部骨折)、背骨(胸椎、腰椎圧迫骨折)、股関節(大腿骨頸部、転子部骨折)です。

図1 骨粗鬆症で起きやすい骨折



これらが起きる年齢を見ると(**図2**)、手首の骨折はちょうど閉経の起こる45歳ぐらいから増加し始めます。背骨の骨折は60歳ぐらいから、股関節の骨折は75歳ぐらいから急激に増加します。これは、比較的若いうちは転びそうになった時に手が出るのですが、徐々に尻もちをついたり、直接股関節周囲を打撲するようになるためです。このような骨折が起きると多くの場合手術が必要となってきます。

図2 骨折の発生時期 女性



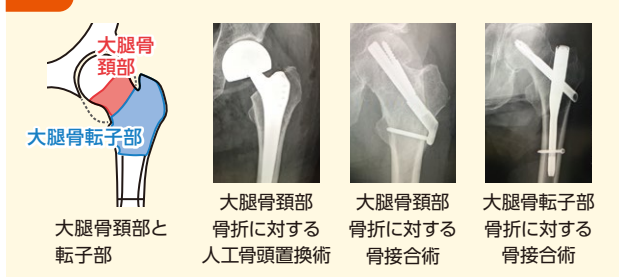
私たちの外傷センターでは、**表1**に示すように主に手首の骨折や肩の骨折、股関節の骨折の手術を行なっています(背骨の骨折は脊椎センターで治療しています)。

表1 外傷センター手術件数(2022年4月~9月)

|                                |    |           |    |
|--------------------------------|----|-----------|----|
| 大腿骨頸部骨折<br>(人工骨頭置換術、人工関節置換術) … | 27 | 膝蓋骨骨折 ……  | 5  |
| 大腿骨頸部骨折(骨接合) ……                | 12 | 鎖骨骨折 ……   | 3  |
| 大腿骨転子部骨折 ……                    | 35 | 脛骨近位部骨折 … | 3  |
| 橈骨遠位端骨折 ……                     | 20 | 手指の骨折 ……  | 4  |
| 上腕骨近位部骨折 ……                    | 6  | その他骨折 ……  | 4  |
| 足関節周囲骨折 ……                     | 10 | その他 ……    | 6  |
| 肘頭骨折 ……                        | 6  | 抜釘 ……     | 16 |

特に股関節の手術が多く、大腿骨頸部骨折では、症例によって人工骨頭置換術や人工関節置換術、骨接合術を、大腿骨転子部骨折に対しては骨接合術を、早期に元の日常生活に戻れるように行なっています(**図3**)。

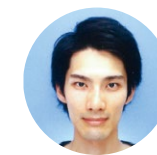
図3 大腿骨近位部骨折の治療



このような股関節の骨折では、手術までの待機期間が長くなると肺炎や尿路感染症、せん妄の出現などで回復が遅れてきます。海外では48時間以内あるいは72時間以内に手術をしないと死亡率が増加するとも報告されています。日本国内でも48時間以内の手術が推奨されるようになってきています。当センターでもできる限り48時間以内の手術を目指していますが、いろいろな状況により行えないこともあります。また、新たな骨折が起きないように骨粗鬆症の治療を開始することも大切です。

整形外科医だけではなく、多職種で連携し早期の日常生活復帰を目指して早期の手術、術後リハビリテーション、骨粗鬆症の治療、退院後のケアなどを行なっていますが、さらに充実したものにしていきたいと思っています。

### 新任医師紹介



西宮渡辺病院  
整形外科  
松本 聖志朗 医師

2022年10月から西宮渡辺病院に赴任しました、整形外科の松本聖志朗と申します。私は"患者様ファースト"の医療を目指して日々診療にあたっております。高齢の患者様も多いため併存症にも留意して、整形外科としてはもちろんジェネラルな医療・サポートもしていく所存でございます。半年間と短い期間ではありますが、よろしくお願いいたします。



西宮渡辺病院  
整形外科  
鈴木 摩耶 医師

本年度10月より整形外科で勤務させていただくこととなりました、鈴木摩耶と申します。これから地域の皆様に寄り添った診療を心がけていきたいと思っています。半年間と短い間ですが、どうぞよろしくお願いいたします。